

# なりすまし詐欺被害認知状況等について

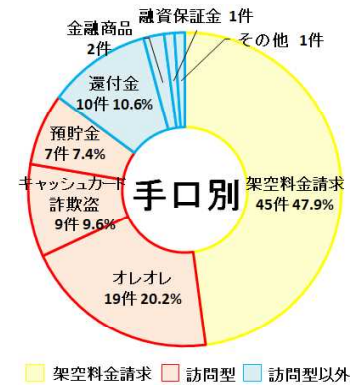
## 【福島県内 令和5年中】

福島県警察本部  
生活安全企画課

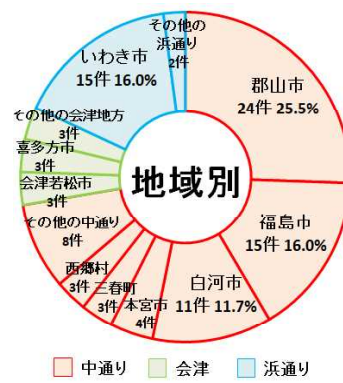
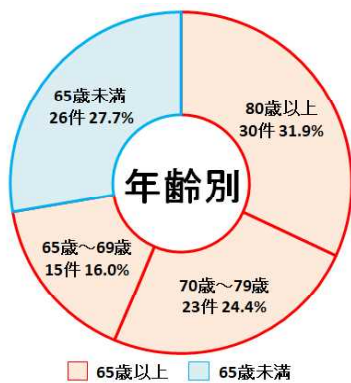
### 被害認知状況

94件、1億5,712万円（前年比 - 10件 (- 9.6%)、- 8,359万円 (- 34.7%)）

	令和5年中		令和4年中		比較増減	
	件数	被害金額(万円)	件数	被害金額(万円)	件数	被害金額(万円)
なりすまし詐欺	94	15,712	104	24,071	-10	-8,359
詐欺	85	14,892	64	19,810	+21	-4,918
オレオレ詐欺	19	3,356	27	12,272	-8	-8,916
預貯金詐欺	7	671	12	1,306	-5	-635
架空料金請求詐欺	45	8,748	15	5,295	+30	+3,453
融資保証金詐欺	1	726	2	214	-1	+512
還付金詐欺	10	1,153	7	662	+3	+491
金融商品詐欺	2	36	1	61	+1	-25
その他	1	202	0	0	+1	+202
キャッシュカード詐欺盗	9	820	40	4,261	-31	-3,441



※ その他: 副業幹旋関係による被害

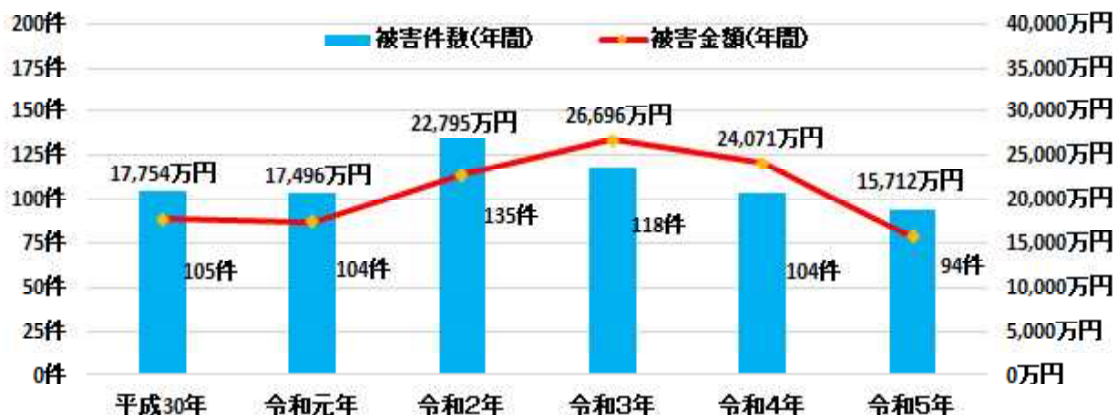


### 【地域別詳細】

その他の中通り	内訳
石川町	2件
伊達市	1件
二本松市	1件
須賀川市	1件
田村市	1件
小野町	1件
古殿町	1件
その他の会津地方	内訳
磐梯町	1件
会津美里町	1件
南会津町	1件
その他の浜通り	内訳
相馬市	1件
南相馬市	1件

- 手口別：被害手口の約5割（45件、47.9%）が**架空料金請求詐欺**の被害（45件中36件が電子マネーでの被害）
- 年齢別：被害者の7割以上（68件、72.3%）が**65歳以上の高齢者**の被害
- 地域別：被害地域の7割以上（68件、72.3%）が**中通り地域**での被害

### 【年別認知状況等】



## 未然防止状況

143件、5,510万円（前年比+46件(+47.4%)、+971万円(+21.4%)）

	令和5年中		令和4年中		比較増減	
	件数	金額(万円)	件数	金額(万円)	件数	金額(万円)
未然防止	143	5,510	97	4,539	+46	+971
金融機関	33	4,165	35	3,669	-2	+496
コンビニ	103	1,307	45	299	+58	+1,008
その他	7	38	17	571	-10	-533

※ その他:家族・親族、一般人等

電子マネーを悪用した架空料金請求詐欺が増加したため、県内各コンビニエンスストアと連携し「なりすまし詐欺対策シート」を活用した電子マネー購入客に対する声かけの強化などの対策を実施した結果、**未然防止件数、未然防止金額が大幅に増加**しました。

電話で「**コンビニで電子マネーを買ってきて**」と言われたらなりすまし詐欺を疑ってください！

## 情報認知・相談受理状況

1,190件（前年比+249件(+26.5%)）

	令和5年中	令和4年中	比較増減
予兆情報	1,190件	941件	+249件
電話	703件	744件	-41件
固定電話	447件		
携帯電話	256件		
不明	0件		
メール・メッセージ	182件	193件	-11件
SMS	108件		
SNS	18件		
その他(Eメール等)	56件		
ポップアップ表示	294件		+294件
サポート名目	270件		
サイト利用料名目	24件		
その他の名目	0件		
その他(はがき・FAX等)	11件	4件	+7件

○ 令和5年中の予兆情報：1,190件

● 固定電話：447件

447件中213件が息子、病院職員をかたり「喉を痛めて病院に搬送された」「病院で会社の重要書類をなくした」などの内容

● 携帯電話：256件

256件中137件がNTT関連会社をかたり「サイト利用料金、携帯料金が未納だ」などの内容

● SMS・SNS・その他(Eメール等)：182件  
182件中101件が「サイト利用料金、携帯料金が未納だ」などの内容

● ポップアップ表示：294件

294件中270件がパソコン使用中「ウイルスに感染した、サポートセンターに問合せして」などの内容

● その他(はがき・FAX等)：11件

## なりすまし詐欺被害防止へのご協力をお願いします！

令和5年は令和4年と比較して、なりすまし詐欺の被害認知件数、被害金額ともに**減少**となりました。

令和5年は、架空の事実を口実としてお金をだまし取る架空料金請求詐欺（「携帯料金やサイト利用料の未納」や「パソコンのウイルス感染サポート代」など）の被害が最も多く発生しました。（令和4年の認知件数の3倍）

令和6年は、さらなる被害の減少を目指して、コンビニエンスストア等での電子マネー購入者への声かけや金融機関窓口でのチェックリストの活用、携帯通話をしながらATMを操作している人への声かけなど、各種水際対策への協力をお願いします。